

## 平成29年度 全国学力・学習状況調査の結果の概要

### 1 調査の概要

#### (1) 調査の目的

- ・義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- ・学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- ・以上のような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

#### (2) 調査の対象学校・対象学年

- ・川辺町 小学校3校 中学校1校
- ・小学校第6学年、中学校第3学年

#### (3) 調査内容

##### ①教科に関する調査【国語、算数・数学】

- ・主として「知識」に関する問題
- ・主として「活用」に関する問題

##### ②生活習慣や学習環境に関する質問紙調査

#### (4) 調査日 平成29年4月18日(火)

### 2 川辺町における調査結果の概要

#### (1) 教科に関する調査結果

##### 小学校

昨年度の町の平均正答率と比べ、国語、算数とも上回る結果となりました。さ算数の知識に関する問題において、全国の平均正答率より上回る結果となっています。国語の知識・活用に関する問題と算数の活用に関する問題においては、やや下回る結果でした。

##### 【本町の児童が概ね身に付けている内容】

- 手紙の構成を理解し、後付けを書くこと。(国語)
- 互いの話を聞き、考えの共通点や相違点を整理しながら進行に沿って話し合う。(国語)
- 数量の関係を数直線に表すこと。(算数)
- 加法と減法の混合した整数と小数の計算。(算数)

##### 【本町の児童に一層身に付けさせたい内容】

- △学年別漢字配当表に示されている漢字を正しく書くこと。(国語)
- △目的に応じて文章の中から必要な情報を見つけて読むこと。(国語)
- △資料から、二次元表の合計欄に入る数を求めること。(算数)
- △問題に示された二つの数量の関係を一般化して捉え、そのきまりを記述できる。(算数)

##### 中学校

昨年度の町の平均正答率と比べ、すべての教科で上回る結果となっています。また、全国の平均正答率と比べると、国語の知識や活用に関する問題でやや上回り、数学の知識や活用に関する問題ではやや下回りました。

##### 【本町の生徒が概ね身に付けている内容】

- 場面の展開や登場人物の描写に注意して読み、内容を理解すること。(国語)
- 目的に応じて資料を効果的に活用して話すこと。(国語)
- 角の二等分線の作図が図形の対称性を元に行われていることを理解する。(数学)
- 与えられた一次関数の表において、変化の割合の意味を理解している。(数学)

【本町の生徒に一層身に付けさせたい内容】

- △文章の構成や展開、表現の特徴について自分の考えをもつ。(国語)
- △アンケートなどで必要な情報を集めるための見通しをもつ。
- △加減乗除を含む正の数と負の数の計算。(数学)
- △分数の乗法の計算。(数学)

(2) 児童生徒質問紙に関する調査結果

全国の平均と比べて特徴的な項目は次のとおりです。

**小学校**

- 家庭での生活については、「朝食を毎日食べている」「宿題をきちんとやっている」と答えた児童の割合が高い。
- 自分自身のことでは、「ものごとをやり遂げてうれしかった」「失敗を恐れずに挑戦している」と答えた児童の割合が高い。
- 仲間・学級のことでは、「学校に行くのが楽しい」「友達に会うのが楽しい」と答えた児童の割合が高い。
- 授業のことでは、「先生が最後まで教えてくれる」「算数の問題がわからなくてもあきらめない」と答えた児童の割合が多い。
- △「家で、学校の予習をしている」と答えた児童の割合が少ない。
- △「考えが上手く伝わるよう工夫して発表する」と答えた児童の割合が低い。

**中学校**

- 家庭での生活については、「学校での出来事をよく話す」「宿題をきちんとやっている」と答えた児童の割合が高い。
- 自分自身のことでは、「友達に会うことは楽しい」「よく図書館に行っている」と答えた児童の割合が高い。
- 仲間・学級のことでは、「話し合いに折り合いをつけて話し合える」「友達との約束を守る」と答えた児童の割合が高い。
- 授業のことでは、「自ら考え、授業に取り組んでいる」「数学の問題がわからなくてもあきらめない」と答えた児童の割合が多い。
- △「友達の前で自信をもって発表するのが苦手」と答えた児童の割合が多い。
- △「自分によいところがある」と答えた児童の割合が低い。

3 今後の取組について

上記の結果を踏まえ、川辺町として次のことを大切にしております。

- (1) 「児童生徒の実態」「学習状況」「定着」の3つを見届ける授業づくりの推進
  - ・今回の結果を踏まえた各校の指導改善を具体化する取組を支援する。

(各校の指導改善については、校報等で保護者に伝える。)

- ・図書館教育を推進し、学校図書館を「読書センター」としての機能に加え「学習・情報センター」としての機能と活用の充実を図る取組を支援する。

(2) ユニバーサルデザインの授業づくりの推進

- ・落ち着いて学習に取り組める環境を整える。
- ・一人一人に伝わるよう伝え方を工夫する。
- ・一人一人が意欲的に取り組み、進んで関わりあえる活動内容を工夫する。

(3) 学校と家庭・地域との連携強化

- ・情報通信機器の健全利用をめざす「かわべKMS 9 運動」をさらに推進し、安全・安心な環境を整える。
- ・小学校と中学校が時期を合わせて、家庭学習の一層の充実に向かう取組を家庭と連携して進める。
- ・「ふるさと教育」を推進し「わたしが好き」「この町が好き」と言える児童生徒を増やす。